

(報 告) 平成 30 年度事業報告

平成 30 年度事業報告

自：平成 30 年 4 月 1 日

至：平成 31 年 3 月 31 日

平成 30 年度の我が国経済は緩やかな景気回復傾向で推移いたしました。第 2 四半期には、西日本豪雨や北海道胆振東部地震、台風 21 号による甚大な被害等自然災害の影響により、実質 GDP 成長率が一旦マイナス成長となりましたが、その後は回復傾向に転じました。平成 31 年 3 月の景気動向指数の基調判断が 6 年 2 ヶ月ぶりに「悪化」に引き下げられ不透明感が出ましたが、年間を均してみると堅調な内需が下支えし、回復基調を維持しました。しかしながら、少子高齢化が進むなか、生産年齢人口の減少・従業員の高齢化の進行と高齢者医療への拠出金の負担増加は、企業ならびに健康保険組合員にとって依然として大きな課題となっております。

高齢者の就業機会の拡大は、社会保障制度の担い手を確保すると同時に給付の抑制効果を期待できるものであり、人手不足感の高まりつつある企業にとりましても有益なものとなっております。厚生労働省による調査では、労働力人口の平均年齢が 2015 年には 45.8 歳と 45 年間で 7.4 歳上昇した旨報告されております。今後も人口減少が続くなか、働く人々の高齢化の波は続くものと見込まれております。

国は「健康寿命」に加え「労働寿命」の延伸を目的に、職域における健康診断の重要性に着目し、昨年 3 月に「職域におけるがん検診に関するマニュアル」を公表しました。高齢化に伴い、がんをはじめとする高血圧や高脂血症、糖尿病等の生活習慣病の健康障害を発症するリスクが高まります。発症後の社会保障の重要性は揺るぎないものでありますが、心身ともに就業可能な健康状態を維持することも同様に重要な事項であります。

当協会は半世紀以上に亘り、疾病の早期発見と重症化予防を目的に巡回健診事業を柱として、健康管理に貢献いたすべく運営して参りました。草創期は結核予防を主眼とする内容でありましたが、その後多様化する雇用形態、ICT 関連技術の飛躍的な進歩等、働く人々の業務内容や作業環境も大きく変貌を遂げました。これに伴い、私ども労働衛生機関の担う役割・検査内容、報告形態等も大きく変化いたしました。当協会は企業の産業医や産業保健スタッフの皆様からの要請に適切且つ迅速にお応えし、働く人々の健康管理をはじめ、地域住民の皆様、学生・生徒の皆様等多くの方々の健康維持に貢献いたすべく取り組んで参りました。

当期は、平成 28 年度に 27 万人規模まで落ち込んだ受診者数を 30 万人まで回復いたすべく取り組みましたが、目標達成には至りませんでした。良質な健診サービスをより多くの皆様に提供し、心身両面での健康に資することにより当協会の社会的責務を全ういたすべく、普段の努力を続けて参ります。

## I. 事業内容

### 【健康診断事業】

#### 1) 健康診断の実績

平成 30 年度の健康診断受診者総数は 283,760 人となり、前年度の受診者総数を 14,774 人上回りました。

下表に示すとおり、職域関係で受診者数が回復傾向となりましたが、目標値の 30 万人には届きませんでした。

受信者数には現れませんが、当協会は経営基盤のきょうかを図りつつ、より多くの皆様の健康管理に多角的に貢献いたすべく、巡回健診に付随するあらたな試みに積極的に取り組んでおります。

＜受診者区分別前年度対比表＞

(単位:人)

| 受診者区分       | 受診者数     |          | 差異<br>H30 年度－H29 年度 |
|-------------|----------|----------|---------------------|
|             | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |                     |
| 1) 職域関係     | 219,271  | 235,037  | 15,766              |
| 2) 地域住民関係   | 5,923    | 7,396    | 1,473               |
| 3) 学童・生徒・学生 | 43,792   | 41,327   | △2,465              |
| 1) ～3) 総合計  | 268,986  | 283,760  | 14,774              |

健康区分実績の詳細は別表 (10 ページ) のとおりでありました。

#### 2) 「ストレスチェック」

平成 28 年度から本格的に開始 (H27,12,1 施行) した「ストレスチェック」の実績は、以下のとおりでありました。当協会は全衛連が推奨する定期健康診断と同時に効率的に受検することを提案いたしました。ストレスチェックについては、専属産業医が独自に取り組まれる事例が多数を占めました。今期は、大規模事業場の産業医がグループ企業 16 社を取り纏め、Web を利用するストレスチェックシステムを導入したことが影響し、受検者は前期比 8,204 人減少いたしました。今後もこの傾向は続くものと見込まれますが、引き続き全衛連のシステムを活用し、「ストレスチェック」の要請にお応えするとともに、制度の啓発・浸透を推進し働く人のメンタルヘルス対策に貢献いたします。

＜ストレスチェック実験 年度別推移表＞

| 区分     | 年度       |          |          |
|--------|----------|----------|----------|
|        | H28 年度   | H29 年度   | H30 年度   |
| 受託事業場数 | 102      | 130      | 81       |
| 受検者総数  | 15,699 人 | 19,806 人 | 11,602 人 |

#### 3) 特定保健指導

当期の特定保健指導は、工場内診療所に現地の産業保健スタッフを動員する方法と当協会の職員が健康保険組合施設内に交替で常駐し、健保に所属する保健師・管理栄養士とともに加入者の「初回面談」ならびに「継続支援」に協力して指導する方法を併用い

たしました。

実施状況は以下のとおり、動機付け支援・積極的支援ともに大幅に増加いたしました。

＜特定保健指導実績 全年度対比表＞

| 区分 \ 年度 | H29 年度 | H30 年度 | 差異<br>H30－H29 |
|---------|--------|--------|---------------|
| 動機付け支援  | 264 件  | 605 件  | 341 件         |
| 積極的支援   | 392 件  | 746 件  | 654 件         |

#### 4) 内部被ばく線量測定装置（WBC）搭載車の稼働状況

環境省が取り組んでいる「福島県内における住民の個人被ばく線量把握事業」について（公財）原子力安全研究協会のご指導のもと、当協会が保有する WBC 搭載車を現地に派遣し、自宅に帰還または帰還予定の皆様への不安軽減に貢献いたしました。稼働日数の推移は以下の通りでありました。原子力安全研究協会との協調により稼働状況が好転いたしました。

＜WBC 搭載車 稼働日数の推移表＞

|      | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 稼働日数 | 9 日    | 88 日   | 87 日   |

#### 5) その他巡回健診に付随する業務等

平成 28 年度から開始した工場内診療所における健診運営の支援を継続するとともに、保険指導まで業務を拡大いたしました。

当期は環境省を発注者とする「子供の健康と環境に関する全国調査（パイロット調査）」を履行いたしました。例年通り巡回によりインフルエンザ予防接種にも従事しましたが、遺憾ながらワクチンの供給不足により接種希望者の 85%（約 2 万 6 千人）の実績にとどまりました。

### 【事務センター】

健康保険組合の健診関連事務を代行する「事務センター」が本格稼働を開始して 5 年が経過いたしました。主要業務の処理実績は下表のとおり年度により僅かな増減はありますが、堅調に推移しております。

＜主たる業務別処理実績推移＞

（単位：件）

| 業務 \ 年度 | H26 年度  | H27 年度  | H28 年度  | H29 年度  | H30 年度  |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ① 予約管理  | 202,484 | 190,917 | 201,243 | 191,185 | 199,453 |
| ② 請求管理  | 194,815 | 249,928 | 243,740 | 246,801 | 236,718 |
| ③ 結果処理  | 214,101 | 248,377 | 243,009 | 248,613 | 243,847 |

本年度は、健康保険組合に加入する企業・事業所等を担当する巡回健診マネージャ

一を当センターに異動し巡回健診のニーズに即応した結果、新規受託を実現いたしました。

7月には健康保険組合・日本医師会・当協会の3者が協議し、日本医師会が作成した「健診データ標準フォーマット」を利用する全健診データ一元化プロジェクトが始動いたしました。来期4月のスタートに向けシステム改修を取り進めると同時に契約健診機関に対する所定フォーマットでのデータ提供を周知いたしました。

事務センターが担う健保の保健事業関連の代行業務は、徐々に拡大しつつあります。発足当初からの前記の主たる業務以外にも、あらたな業務を受託しそれぞれ以下に示す実績となりました。

＜その他の保健事業関連事務代行実績＞

(単位：件)

| 業務区分              | 年度    |         |         |
|-------------------|-------|---------|---------|
|                   | H28年度 | H29年度   | H30年度   |
| パート先健診結果取り纏め      | 393   | 340     | 166     |
| 立替・請求処理           | 3,423 | 7,816   | 8,086   |
| インフルエンザワクチン接種補助審査 | —     | 108,719 | 109,563 |
| 保健指導結果・請求処理       | —     | 2,682   | 7,400   |
| 歯科検診結果・請求処理       | —     | 22,676  | 21,003  |

## II. 技術研修会等

職員の技術力の向上を目的として、(公社)全国労働衛生団体連合会・中央労働災害防止協会等が主催する各種講習会・研修会に参加するとともに、協会内部での研修会を開催いたしました。当期は特に外部協力スタッフを対象とする「採血手技」に関する研修に傾注いたしました。

10月からは新たな試みとして、「eラーニング」の受講を開始し必修コースとして①個人情報保護&情報セキュリティ基本コースと②企業倫理・コンプライアンス基本コースの受講を義務づけました。

### (1) 外部講習会・研修会

| 開催日       | 内容                   | 主催                 |
|-----------|----------------------|--------------------|
| H30年4月14日 | OZAK 新人研修会           | 特定医療法人 大坪会         |
| 6月15・16日  | 平成30年度実践者育成研修(標準第1回) | 中央労働災害防止協会         |
| 7月7日      | 第6回事例で学ぶ保健指導セミナー     | (一社)日本家族計画協会       |
| 7月10日     | 有機溶剤中毒防止に関するセミナー     | (独)埼玉県産業保健総合支援センター |

| 開催日       | 内容  | 主催                     |
|-----------|---|------------------------|
| 7月24・25日  | 検体検査研修会   | (公社) 全国労働衛生団体連合会       |
| 8月4日      | 産業保健師育成研修                                       | (公社) 東京看護協会            |
| 8月23日     | メンタルヘルス研修(一次予防～三次予防)                            | (独)埼玉県産業保健総合支援センター     |
| 8月27日     | 労働衛生サービス機能評価施設認定実務責任者研修会                        | (公社) 全国労働衛生団体連合会       |
| 10月6日     | 平成30年度 実務向上研修 Aコース                              | 中央労働災害防止協会             |
| 10月24日    | 第26回 OZAK 学術集会                                  | 特定医療法人 大坪会             |
| 11月27・28日 | 健診機関職員研修会(基礎コース)                                | (公社) 全国労働衛生団体連合会       |
| 12月4～6日   | 第30年度産業保健指導専門研修会                                | 中央労働災害防止協会             |
| 12月17・18日 | 第30年度産業保健指導者専門研修会                               | (公社) 全国労働衛生団体連合会       |
| H31年1月31日 | 行動変容を促す保健指導研修会                                  | 埼玉県・埼玉県歯科医師会           |
| 2月18日     | 特殊健康診断研修会                                       | (公社) 全国労働衛生団体連合会       |
| 2月19日     | 選別聴力検査研修会Ⅲ                                      | (公社) 全国労働衛生団体連合会       |
| 2月22日     | 都産健協 研修会<br>H29年度職域健康診断有所見率現状調査<br>今後の胃X線検診について | 東京都産業保健健康診断機関<br>連絡協議会 |
| 3月6日      | 労働安全衛生法の作業主任者に関する<br>セミナー                       | (独)埼玉県産業保健総合支援センター     |

(2) 内部教育研修会

| 開催年月日        | 内容                                   |
|--------------|--------------------------------------|
| H30年6月27～29日 | 「バリウム誤嚥対策研修会」<br>講師：医療技術部長 鈴木 健二     |
| 8月2・3日       | 「採血担当医教育研修(協力スタッフ)」<br>講師：看護師 青山 可奈子 |
| 9月28日        | 「尿検査の協会基準について」<br>講師：臨床検査技師 佐藤 伸行    |
| 10月29日       | 「採血担当医教育研修(協力会社)」<br>講師：看護師 青山 可奈子   |

|           |  |
|-----------|--|
| 12月8日     | <p>「第18回 年末研修会」 全常勤役職員・外部協力機構4社 16名</p> <p>I 「各部のアクションプランの説明と進捗」 各部代表<br/>各部のこれからあるべき姿</p> <p>II 「各委員会報告」 個人情報保護委員会・安全衛生委員会・CS・ES委員会・リスクマネジメント委員会・医療技術情報委員会</p> <p>III 「健診運営について」</p> <p>1) 協会の尿検査について 健診管理部 係長</p> <p>2) 巡回健診時の採血義務 医療技術部長・主任</p> <p>3) ワクチン接種の注意事項 //</p> <p>IV 「全衛連 労働衛生サービス機能評価基準 Ver.7」改訂概要<br/>品質保証室長・健診業務部 係長</p> <p>V 「個人情報保護に関する継続セミナー」<br/>講師：(株)エムシーオフィス 代表取締役 栗原 秀樹 氏<br/>JIS Q 15001:2017 改正のポイント<br/>Medis(一財)医療情報システム開発センター指針第4版：概要と変更点</p> |
| 12月21日    | <p>「採血担当医教育研修（協力会社）」<br/>講師：看護師 青山 可奈子</p>   |
| H31年2月26日 | <p>「採血担当医教育研修（協力会社）」<br/>講師：看護師 青山 可奈子</p>   |
| 3月8・9日    | <p>第8回階層別研修会<br/>場 所：箱根仙石荘<br/>参加者：常勤役員、係長・主任主体 18名<br/>「仕事に対する考え方について」<br/>各研修者発表（質疑応答）</p>   |

### III. 講演会の開催及びその他の発表、指導、協力等

#### (1) 講演会の開催

##### ○ 平成30年6月26日

第53回定時社員総会終了後、社長ならびに顧客の皆様を対象に講演会を開催いたしました。

場所：リビエラ東京（豊島区） 2階会議室

演題：『職場のストレスとメンタルヘルス』

講師：東洋大学 総合情報学部 総合情報学科  
准教授 喜岡 恵子 氏

#### (2) その他の発表、指導、協力等

○平成30年4月～31年3月 「平成30年度 福岡第一原発事故に伴う緊急作業従事者に係る健康相談等事業」に参加いたしました。

(公社) 全国労働衛生団体連合会が主導して取り組んでいる上記事業の支援窓口機関として、協力いたしました。

○4月15日 バングラデシュ (ボイシャキ) 祭において胸部レントゲン撮影を含む無料健康相談ブースの運営に協力いたしました。

主催：ジャパン・バングラデシュ・ソサエティ

後援：豊島区、バングラデシュ大使館

場所：池袋西口公園

○9月1日～9月30日 「平成30年度 心とからだの健康推進運動」に参加・協力いたしました。

全国労働衛生週間の準備月間となる9月に展開される職域の受診率向上と心身両面での健康づくりの啓発運動に参加いたしました。

○11月1日 『産業保険フォーラム IN TOKYO 2018』に協力いたしました。

サブタイトル：いきる・はたらく ～私たちの今と未来～

主催：東京労働局、(公社) 東京労働基準協会連合会、東京産業保健総合支援センター

場所：「ティアラこうとう」(江東区住吉 2-2-36)

体力測定項コーナーにおきまして、例年通り骨密度測定・転倒リスク測定・簡易体力測定を実施いたしました。

○11月6日 平成30年度『港地区健康と安全推進大会』に協力いたしました。

主催：港地区健康と安全推進大実行委員会

代表世話人：三田労働基準監督署

場所：「ハローワーク品川」(港区芝 5-35-3)

脳年齢・骨密度。体力測定等および健康始動を実施いたしました。

○H30年2月1日～2月28日『働く人の健康診断推進運動』に参加、協力いたしました。

主催：(公社) 全国労働衛生団体連合会 東京都地区甲議会

全衛連が9月に展開した「心とからだの健康推進運動」期間中に受診できなかった方々を対象とする標記運動に参加いたしました。

参加・協力機関：都内24施設

○3月7日 『平成30年度江戸川健康づくりセミナー』に協力いたしました。

主催：江戸川労働基準監督署

共催：(公社) 東京労働基準協会連合会 江戸川労働基準協会支部、江戸川労働基準協会健康づくり研究部会  
「タワーホール船堀」(江戸川区船場 4-1-1)

- 3月22日 『第50回健康医学研究会』に協賛いたしました。  
主催：一般社団法人 健康医学協会  
協賛：当会・(医社) 生光会  
場所：「ホテルニューオータニ」(千代田区紀尾井町 4-1)  
基調講演Ⅲを担当いたしました。  
テーマ：「健保組合向け健診取りまとめモデル」  
～健診データ標準フォーマットの利活用～  
執行役員 事務センター長 宮内 保行

#### IV. 外部精度管理への参加状況等

鉦石社団法人全国労働衛生団体連合会が主催する以下の精度管理調査に継続的に参加いたしました。

- ①平成30年度 胸部エックス線検査精度管理調査  
評価 A (30.12.12)
- ②平成30年度(第32回労働衛生検査(鉛・有機溶剤に係わる生物学的モニタリング検査)精度管理調査  
評価 A (31.2.28)
- ③平成30年度 臨床検査精度管理調査  
評価 A (31.4.8)

当期は全衛連が有料な健診機関の選定条件として推奨するP(プライバシー)マークの認定更新審査年度でありました。9月に(一財)医療情報システム開発センターによる訪問調査の結果、以下の通りPマークの使用が許諾されました。平成22年に取得依頼、第4回目の認定更新となりました。

有効期間：平成30年9月22日～令和2年9月21日  
登録番号：第14200076(05)号

#### V. 会議の開催

- (1) 定時社員総会：平成30年 6月 26日
- (2) 理事会：平成30年 6月 1日  
平成30年 10月 25日  
平成31年 3月 26日



(3) その他

- ・常勤理事会
  - ・ライン会議
  - ・品質保証委員会
  - 1) CS・ES 委員会
  - 2) T・C リスクマネジメント委員会
  - 3) 医療技術委員会
  - ・安全衛生委員会
  - ・機関誌編集委員会
  - ・個人情報保護委員会
- } 毎月定例開催
- 適宜開催

VI. 研究資料の配布等の広報活動

(1) 事業年報の配布

平成 29 年度定期健康診断を実施した「職域関係」の有所見率を検査項目別に分類集計した統計結果と協会の平成 29 年のトピックス等を掲載した事業年報を作成し、会員・顧客の皆様配布いたしました。

(2) 機関誌「あおぞら」7・8号を発行しました。

当協会の機関誌「あおぞら」を発行し、板橋本部の各部ならびに事務センターの紹介等協会の近況報告に加え、糖尿病予防のための血液検査の意義等「医療情報」として掲載し皆様にご提供いたしました。

VII. 健診機器の拡充等

(一財) 日本宝くじ協会の補助により健診車を整備いたしました。

(一財) 日本宝くじ協会の平成 30 年度公益法人助成事業（社会貢献広報事業）の補助を受け、胃胸部デジタル集団検診車を設備いたしました。

平成 31 年 2 月に受領し、入念な動作試験を重ねるとともに読影医師との綿密な意見交換のもと各種調整を加え、期末から稼働を開始いたしました。

VIII. 関係団体への協力等

|                     |       |     |      |
|---------------------|-------|-----|------|
| ① (公社) 全国労働衛生団体連合会  | 監 事   | 会 長 | 大坪 修 |
| ② 東京産業保険健康診断機関連絡協議会 | 副会長   | 会 長 | 大坪 修 |
|                     | 理 事   | 理事長 | 白川 毅 |
|                     | 企画部会長 | 顧問  | 山岸 裕 |

## IX. 会員の移動状況

(H31,3,31 現在)

| 会員区分   | 前期末 | 増加 | 減少 | 当期末 |
|--------|-----|----|----|-----|
| 法人正会員  | 21  | 1  | 2  | 20  |
| 個人正会員  | 25  | 0  | 2  | 23  |
| 法人賛助会員 | 11  | 0  | 0  | 11  |
| 個人賛助会員 | 0   | 0  | 0  | 0   |
| 合計     | 57  | 1  | 4  | 54  |

(別表)

## 平成30年度健康診断区分別受診者数一覧表

### 1) [職域関係]

| 健 診 区 分   | 受診者数 (人) | 備 考             |
|-----------|----------|-----------------|
| 雇い入れ時     | 5,937    |                 |
| 定期健康診断    | 57,640   |                 |
| 特殊健康診断    | 23,713   | 詳細は別記参照         |
| 生活習慣病健康診断 | 124,619  |                 |
| その他健康診断   | 22,787   | 二次精密検査、定期追加検査含む |
| 歯 科       | 341      |                 |
| 合 計       | 235,037  |                 |

### 別記 (特殊健康診断内訳)

| 健 診 区 分 |           | 受診人数 (人) | 備 考 |
|---------|-----------|----------|-----|
| 法 定     | じ ん 肺     | 391      |     |
|         | 鉛         | 373      |     |
|         | 有 機 溶 剤   | 8,019    |     |
|         | 特定化学物質    | 5,705    |     |
|         | 電 離 放 射 線 | 1,061    |     |
|         | 石 綿       | 397      |     |
| 行 政 指 導 | 有 害 光 線   | 745      |     |
|         | 騒 音       | 3,523    |     |
|         | 振 動 工 具   | 291      |     |
|         | 腰 痛       | 463      |     |
|         | V D T     | 2,745    |     |
| 合 計     |           | 23,713   |     |

### 2) [地域住民関係]

| 健 診 区 分 | 受診者数 (人) | 備 考                   |
|---------|----------|-----------------------|
| 住民健康診断  | 7,396    | 行政・地区医師会よりの受託、及び事業所家族 |

### 3) [学童・生徒・学生関係]

| 健 診 区 分 | 受診者数 (人) | 備 考                   |
|---------|----------|-----------------------|
| 学童健康診断  | 41,327   | 学童・高等学校・専門学校・専修学校・大学等 |

1) ~ 3) 合計 283,760 人

## 事業報告書の附属明細書

一般社団法人 労働保健協会

該当事項が無いため、記載省略いたします。